

# 都市計画道路3・4・7号弘前宮地線 事業概要



イメージパース「弘前市中土手町まちづくり整備計画」より

青森県中南地域県民局地域整備部



# 都市計画道路3・4・7号 弘前宮地線事業概要



事業延長  $L=355m$  道路幅員  $W=15m$

青森県：無電柱化・歩道融雪・歩道舗装  
 商店街：アーケード撤去・歩道照明・統一サイン

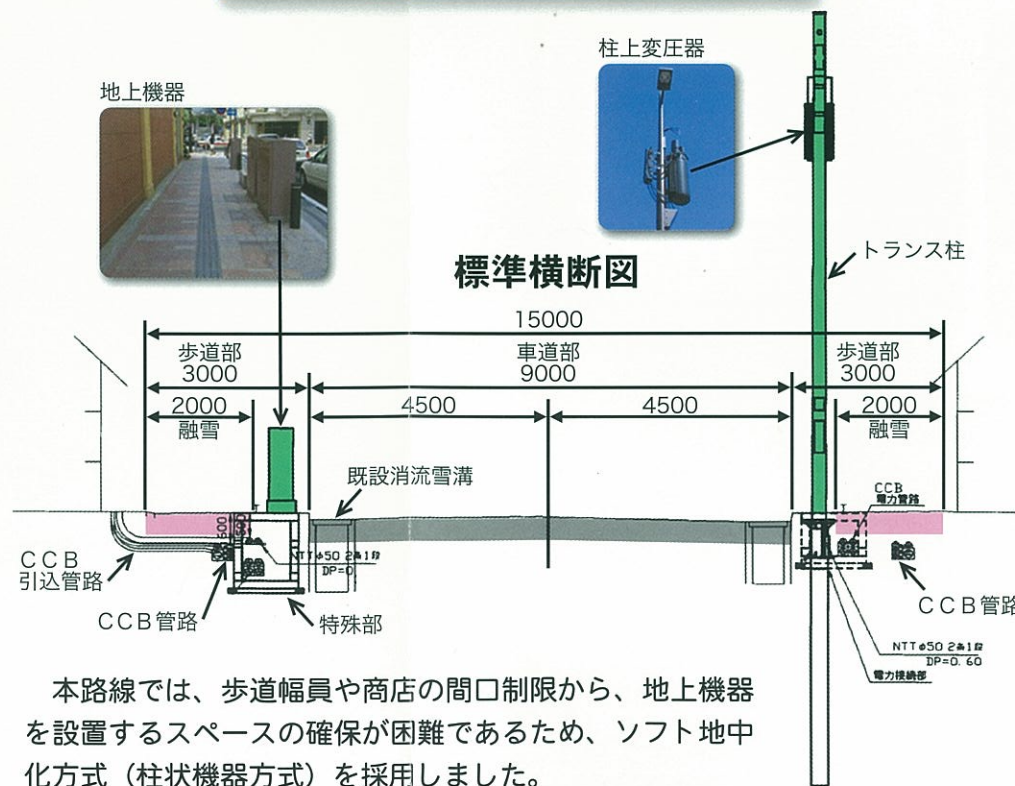
## 事業概要

- 路線名：都市計画道路3・4・7号弘前宮地線
- 施行者：青森県
- 起点：弘前市大字土手町
- 終点：弘前市大字土手町
- 事業認可：平成18年9月1日
- 事業期間：平成18年9月1日～平成22年3月31日
- 延長：約355m
- 幅員：15m（歩道幅員片側約3m）
- 総事業費：約4億円
- 整備概要：電線共同溝整備（ソフト地中化）  
 歩道融雪装置（電熱方式）  
 歩道舗装整備（自然石舗装）

## 事業効果

- 中心市街地へのアクセス向上
- 中心市街地活性化（来街者増、賑わい、経済効果等）
- 良好な歩行者空間の創出
- 歩道の通年バリアフリー化
- 都市景観及び都市防災機能の向上
- 情報通信ネットワークの信頼性向上

## 電線共同溝



本路線では、歩道幅員や商店の間口制限から、地上機器を設置するスペースの確保が困難であるため、ソフト地中化方式（柱状機器方式）を採用しました。  
 この柱状機器方式は、変圧器を照明柱の上部に設置することにより、省スペース化と景観に配慮することが可能な方式です。

## 歩道整備

下土手町及び上土手町では、商店街のまちづくり計画に合わせて、津軽の伝統工芸である「こぎん」をモチーフにした自然石舗装を施しており、中土手町についても同様の整備を進めることとしています。  
 また、歩道の通年バリアフリー化のため、歩道に融雪装置を設置しますが、環境に配慮した電熱線方式を採用し、ランニングコストを抑えるため、弘前市の降雪特性に合わせた綿密な制御を行います。



## 地元の取り組み

中土手町商店街では、国や市の補助制度を活用しながら、県の街路事業と連携した商店街環境整備事業を実施しています。

- 事業期間 平成19年度～平成21年度
- 総事業費 約1億円
- 事業概要 アーケード解体・撤去  
統一庇（ファサード）  
街路灯及び照明柱設置



# 路線の位置づけ

本路線は、弘前市の玄関口である弘前駅から観光・文化拠点である弘前公園へのアクセスルートであり、商業を中心にまちなかの賑わいを創出しています。

周辺には、大正期建築の教会や明治時代の趣を残す時計店など歴史的景観を形成する施設が存在する一方、市の4大まつりの一つである「ねぶたまつり」、歩行者天国である「カルチュアロード」、「よさこい津軽」など集客力の高い多様なイベントも開催されており、商業、観光など多方面において重要な役割を担う路線であります。

土手町通りのうち、上土手町及び下土手町地区は、既に街路事業や商店街近代化事業により、無電柱化、歩道融雪、デザイン照明、ファサードの統一などの街並み整備を終えていますが、土手町通りの中央に位置する中土手町地区は、電柱が多く電線の輻輳やアーケードの老朽化等により、まちの景観が大きく阻害され、来街者も減少傾向が続いています。

このような状況の中、地元では、商店街の活性化を目的に「まちづくり委員会」を発足させ、アーケード撤去、歩道照明、統一サイン設置などを地元で行うという、まちづくりの機運が高まったことから、県施行の街路事業による無電柱化、歩道融雪、歩道舗装を実施し、歴史ある城下町と近代的な街並みが融合する「レトロモダンなまち」をコンセプトに、地元との協働により、中土手町の街並み整備を進め、土手町通りの連続性とストーリー性を創出するものであります。

弘前昇天教会



一戸時計店

ねぶたまつり



よさこい津軽



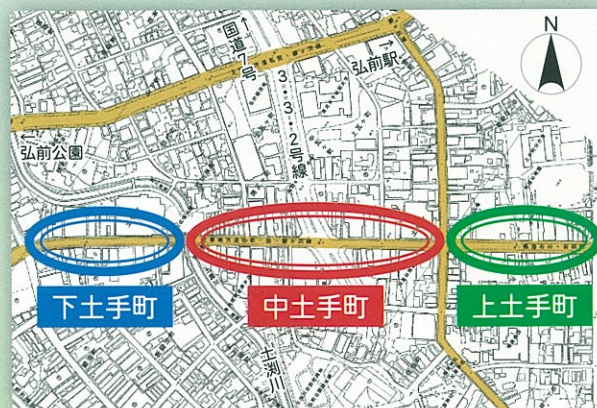
下土手町の現状



中土手町の現状



上土手町の現状



青森県中南地域県民局  
地域整備部

〒036-8345  
弘前市大字蔵主町4番地  
TEL 0172-32-1131 (内) 244  
FAX 0172-36-5360